

# 新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

<b>事業名</b>	伊座敷バイパス（一般国道269号）	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	鹿児島県
<b>起終点</b>	自：鹿児島県肝属郡佐多町伊座敷 至：鹿児島県肝属郡佐多町浮津	<b>延長</b>	2.9 km		
<b>事業概要</b>	一般国道269号は、鹿児島県指宿市を起点として、宮崎県宮崎市へ至る延長約150 kmの道路であり、大隅半島の縦断道路及び循環道路として産業及び観光面について大きく寄与し、社会経済の発展に供する地域振興上重要な延長2.9 kmの2車線道路である。				

**事業の目的、必要性**  
伊座敷バイパスは、トンネル部の幅員狭小の解消及び防災点検に位置付けられている区間の安全な通行を確保するため、地域振興の活性化に大きく寄与するものである。

<b>全体事業費</b>	61億円		<b>計画交通量</b>	2,600台/日	
<b>費用便益比</b>	<b>B/C</b>	<b>総費用</b>	<b>総便益</b>	<b>基準年</b>	
	1.9	52億円 事業費：50億円 維持管理費：2億円	97億円 走行時間短縮便益：88億円 走行費用減少便益：9億円 交通事故減少便益：0億円	平成15年	

**事業の効果等**

- ・物流効率化の支援（伊座敷港へのアクセスが改善される）
- ・地域づくりの支援（対象区間に大型車のすれ違い困難区間が存在する。）
- ・道路の防災対策・危機管理の充実（都道府県地域防災計画の位置付け・防災点検箇所あり）

など 5項目に、該当

**関係する地方公共団体の意見**：本区間は、幅員も狭く、急峻な岩盤斜面のすそを通過しているため落石等による交通規制も多いことから、佐多町長（平成14年4月23日）による整備促進の要望を受けている。

